学校説明会でのよくある質問とその答え

学校の様子・本校の特色等について

Q．他の高校にはなく、元石川高校にしかない特徴は何でしょうか。
A．学校設定科目の講座「アントレプレナーシップ」を開設しています。また部活動では地域貢献団体「More」が活動しており令和４年度に同好会から部活動に昇格しました。また、本校だけというわけではないかもしれませんが、ノーチャイム制なども元石川高校の特色と言えます。

Q．在校生の男女比を教えてください。また、1クラス何名でしょうか。
A．男女比はおおよそ１０：１１です。１クラス40名で編成されます。

Q．先生方と生徒とは生活面、進路等の相談の時などに話しやすい環境でしょうか。
A．元石川高校は、以前から「面倒見のよい学校」をめざしてきました。教員と生徒は、常にいろいろな場面でコミュニケーションをとっています。教員には教育相談コーディネーターの役割を担当する教員がおり、その他の教員も常にカウンセリングマインドを持って生徒に接しています。また年間２回の教育相談週間で全学年全員との２者面談を行い、夏休みには、全学年、全員と三者面談を行っていて、保護者の方とも、勉強、生活、進路等について、丁寧に会話をしています。

Q．なぜノーチャイム制を導入されたのですか。
A．併設されている麻生支援学校分教室と時間割が異なることが導入のきっかけでした。また、元石川高校生なら、チャイムが鳴らなくても自主的に、そして自分を律して、けじめある行動ができ、さらにそれが将来を生きる力の養成につながると確信していたからでもあります。その確信は間違っておらず、チャイムがなくても、授業に遅れたりする生徒は見かけません。

Q．教室にエアコンは設置されていますか。
A．全ての普通教室と、物理室、美術室、音楽室、情報学習室などの特別教室、図書館や視聴覚室など、ほとんどの部屋に設置されています。

学習について

Q．勉強のサポートはどのようなものがありますか。
A．普段の学習では、授業中にすぐに質問ができ、また休み時間には職員室前の学習コーナーで質問に対応しています。そして全ての授業でクラスルームを用いて質問ができる体制も取っています。３年生になると大学受験ための学力の養成も授業のなかで意識して行っています。実力試験は、１、２年生では、年間４回、３年生は年間３回実施し、学習の定着度を測っています。さらに校内講習として、希望者には通年実施の進学講座や土曜講習などを実施しています。外部の教育関係の企業に委託したプログラムも希望者に紹介しています。（Q．大学受験対策としてどのような取り組みをしているか詳しく知りたいです。も参照）

Q．選択科目はアントレプレナーシップも含め希望通り取れるのでしょうか。
A．はい、希望者は全員選択できます。ただし、選択科目の希望者が極端に少ない場合は開講されない場合もあります。

Q．元石川高校のＩＣＴを活用した授業はどうなっていますか。
A．生徒は、入学時にクロームブックなどの端末を各自で購入してもらいます。現在は、全員に、Google のアカウントを付与し、校内ネットワーク（Wi-Fi）につないで、先生と課題や宿題のやり取りを行ったり、授業中に教室で電子黒板を使用し、発表や生徒同士の意見の共有などを行ったりしています。現在は、全学年、Classi とロイロノートというクラウドサービスを活用しています。

Q．水泳の授業はありますか。
A．プールがありませんので、本校では水泳の授業はありません。部活動でも水泳部はありません。なお今後、プール新設の計画はありません。

Q. 体育は、３年間選択種目でしょうか。また、その場合どんな種目がありますか。
A. ３年間通して選択が中心になります。最初に陸上、器械体操、ダンスから選択します。その後、バスケットボール、バレーボール、サッカー、テニスなどの種目から選択します。１年間に何種目か選択して授業を受けます。

Q. 日本史探究、世界史探究はどのような授業でしょうか。
A. 日本史探究や世界史探究は、文献等史料の読解など、より詳細な歴史を探究的に学びます。

Q. フードデザイン、ファッション造形基礎はどのような授業でしょうか。
A. フードデザインは、家庭や地域において食育の推進に主体的に取り組むことができる資質・能力を育成することをねらいとしています。おもに調理を通して知識や技術を身につけます。ファッション造形基礎は、被服の構成、洋服や和服の製作に関する基礎的・基本的な知識と技術を身につけることをねらいとしています。おもにミシン等を使った被服製作等を行います。

Q. 書道の授業はありますか。
A. 本校では芸術科は、音楽か美術の選択で書道の授業はありません。書道で単位をとることはできませんが、書道に興味がある方は書道部で活動することができます。

アントレプレナーシップについて

Q. アントレプレナーシップを選択した生徒の進学率は高いのでしょうか。
A. アントレを含め、選択科目別の進学率を調査したことはありませんが、ほぼ全員が進学希望者なため、進学率は 100%に近いと思います。

Q. アントレの評価はどうなっているのですか。
A. 発表の仕方、資料のまとめ方、問題解決までの過程等の活動や資料に基づいて観点別に評価し、５段階評価を行っています。

Q. アントレプレナーシップは、希望者は全員受講できるのでしょうか。
A. アントレプレナーシップは、２年生の選択科目の一つで、人数制限はなく、希望した生徒は全員受講できますが、積極性や主体性、やり抜く強さが要求されます。１年生の夏ごろに希望をとり、説明会や面談を重ねて受講者を決定していきます。

Q. アントレプレナーシップではこれまでどのような企業から協力依頼がありましたか。
A. 電通、ＳｏｎｙのＸｐｅｒｉａ、ＪＩＣＡの海外協力、ＫＩＲＩＮ「午後の紅茶」、ビクターエンターテインメントのバンド、ＡＴＩの海外修学旅行企画、神戸屋、プロローグ、東急などにご協力いただきました。また横浜市、大船渡市、たまプラーザ商店街、たまプラーザ住宅連合会などにもご協力いただいています。

進路指導について

Q. 大学模擬授業は年にどれくらい行われていて、内容はどのようなものでしょうか。
A. １年生対象に１年に１度、40 以上の大学・短大・専門学校の先生に来校いただいて、講義をしていただいています。生徒は希望する講座を受講します。

Q. 「社会人に学ぶ」（１年）は、具体的にどのようなことを行うのでしょうか。
A. 本校の卒業生を招いてキャリア教育についてのお話をしていただきます。

Q. 文系と理系を分けない理由は何ですか。
A. 文系クラス・理系クラスに分けると、40 人ずつに区切らねばならず、生徒一人一人の希望に沿った選択が難しくなることから文系・理系でのクラス分けは行っておりません。文理クラスに分けなくても、生徒は文系選択・理系選択を行って授業を受けることができています。文部科学省も、過度に文理分けをすることはよくないという見解を示しています。

Q. 大学受験対策としてどのような取り組みをしているか詳しく知りたいです。
A. 元石川高校では、日々の授業が大学受験のための学力の土台作りと考えています。最近の大学入試で問われるようになってきた、思考力や表現力の育成も授業で力を入れています。そのうえで、１・２年生は年間４回、模試会社の試験を使った実力テストを全員受験しています。３年生は年間３回校内で実力テストを実施する他、本番の雰囲気に慣れる意味でも積極的に校外模擬試験も受験するよう指導しています。また校内講習としての元石川進学講座を、希望者を対象に通年で実施しています。さらに希望者は、リクルート社のスタディ・サプリを団体加入して活用しています。総合型選抜、学校推薦型選抜（指定校推薦・公募制推薦）の受験時に課される面接やプレゼンテーション、小論文などの対策は個別に実施しています。

Q. 指定校についてもうすこし詳しく知りたいです。
A. 指定校推薦の学校は、年度によって変わっています。主な指定校大学一覧は本校ＨＰに掲載しています。

Q. 大学の学部別進学者数を知りたいです
A. 現在各大学の学部は多種多様になっており、学部別の人数はそれぞれが少人数となることから算出しておりません。

Q. 在校生で塾に通ってるお子さんの割合が知りたいです。
A. 本校では算出しておりません。

生活指導について

Q. 校則について知りたいです。
A. 生徒心得については本校ＨＰをご覧ください。

Q. 指定の体操服はありますか.
A. 2016 年より学年カラーを用いたデザインの体操着となりました。

Q. 頭髪に関する校則はきびしいですか。
A. 生徒心得に「髪型は常に清潔で見苦しくないようにし、 脱色、染色およびパーマネント・ウェーブ等を禁止する」とあります。

Q. アルバイトをしている生徒はいますか。
A. アルバイトは届出制です。勉強に遅れを出さないこと、内容や時間が高校生にふさわしいことを確認するために、届け出るよう指導しています。

Q. 女子のローファー靴は指定されていますか。通学に使用する靴やグラウンド履きは指定されていますか。セーターは指定されていますか。
A. 靴は短靴で、靴下、カバンは指定していません。男女ともに、セーターを指定しています。また指定のベストもあり、年間を通じて、二つを自由に着用できます。

Q. 女子でスラックスを着用している生徒はどれくらいいますか。
A. 正確な数は確認しておりませんが、若干名おります。

Q. 夏服はＹシャツかポロシャツか、どちらでも良いのでしょうか。
A. 本校ＨＰの生徒心得の通り、どちらでも可です。

Q. 芸能活動との掛け持ちは可能ですか。
A. 学業に支障のない範囲で可能です。過去には実際に芸能活動を行いながら卒業した生徒もいました。

Q. 自転車通学で電動自電車は可能ですか。
A. 可能です。

通学について

Q．あざみ野駅から徒歩で通学している生徒はいますか。
A．時間は若干かかりますが、徒歩通学の生徒もある程度います。

Q．生徒はどの地区から通学している人が多いですか。
A．年度によって異なりますが、横浜市青葉区や緑区から通っている生徒が多いです。また、川崎市北部地域から通学してくる生徒もいます。

Q．雨の日や道路事情等によるバスの遅延による遅刻の扱いはどのようになりますか。
A．基本的にバスの遅延による遅刻は、遅刻扱いになります。

Q．自転車通学のルールを教えてください。
A．自転車通学は届出制となっています。駐輪スペースは十分に確保されておりますので、遠近にかかわりなく希望することができます。また、電動アシストの自転車を利用しても構いません。法律で定められている通り、自転車保険（自転車損害賠償責任保険等）には必ず加入していただきます。通学時には交通ルールを守り、ヘルメットを着用するなどし、安全に登校してください。

修学旅行について

Q．修学旅行先は毎年変わりますか。
A．学年によって変わります。

部活動について

Q．部活動があるときの下校時間は何時ですか。
A．平時の本校の下校時間は 18 時 30 分です。

Q．部と同好会の違いは何ですか.
A．一番大きな違いは、部活動は生徒会から補助費が出ますが、同好会には出ないことです。最初は同好会として発足し、１年間活動して、部員が７名以上いる場合は、届け出て部に昇格することができます。

Q．兼部できるところはありますか。部活動と同好会の両方に所属することは可能ですか。
A．規定として、全ての部活動、同好会で兼部が可能です。ただ、活動日の重複などがある関係で、兼部が難しい場合があります。 なお、各部活動については、本校ホームページに掲載しています。

Q．部活のマネージャーはありますか。
A．運動部にはマネージャーがいる部活もあります。

Q．部活に入らない生徒はいますか。
A．毎年、部活動加入率は８割前後ですので、加入していない生徒もいます。

生徒会について

Q．生徒会は１年生がメインですか。
A．1,2 年生からの立候補制です。

「More」について

Q. More とはどんな部活ですか。
A. 「好きなこと、得意なことで社会貢献」をモットーに、生徒自身がやりたいことを考え、企画し、実行しています。主体的な活動がしたい、社会貢献をしてみたい、という人にオススメの部活動です。

Q. More のラジオについて具体的にどんなことを放送していますか。
A. 横浜市青葉区のコミュニティ FM ラジオ「FM サルース」や YouTube などで放送を聞くことができます。内容はたまプラーザ周辺のイベントや施設の紹介など地域活性化に役立つニュース、元石川高校の活動や元高生の高校生ライフなどを紹介しています。

安全対策等について

Q. 食物アレルギーがあるのですが、売店でアレルギー表示などの対応はありますか。
A. 購買で販売されているものは基本的に一般に販売されているもので、消費者庁の基準に則って表示されています。

Q. 建物の耐震状況を教えてほしいです。
A. 本校のすべての施設は、国の耐震基準を満たしていますので、県教育委員会の調査の結果、耐震工事の必要はないとされています。

高校入試について

Q. 入試に向け重点的にどのような勉強を行えば良いでしょうか。
A. 本校では特定の科目を重く見る「重点化」や、学校独自の選考試験である「特色検査」は実施しませんので、中学校生活に前向きに取り組み、中学校の授業を大切にして全ての科目をまんべんなく学習することが重要だと思います。学力検査当日まで、受検生の学力は上がり続けます。粘り強く勉強に取り組んで、元石川高校合格をめざして下さい。

Q. 女子の受検者数が多いと女子の倍率は高くなるのか。
A. 合格に関して性別は関係ありません。

PTA 活動について

Q. 保護者の PTA 活動についてお伺いしたいです。
A. 普段は、成人、広報、学年、環境の各委員会に分かれて活動しています。

学校説明会・見学等について

Q. 夏休みに行われた第１回と、第２回・第３回の説明会の内容に変更などはありますか。
A. 内容については基本的には大きくは変わらない予定です。

Q. ホームページ等を見て質問等が出たときの問い合わせはどうすればよいでしょうか。
A. 広報担当者まで電話でお問い合わせください。

Q. 部活動見学 Days 以外の日でも見学や体験はできますか。
A. 各部活動顧問まで電話でお問い合わせください。

以上、ご質問ありがとうございました。